



山本 良一

**1. 代表幹事**

- 山本良一（東京大学 国際・産学共同研究センター 教授）
- 小田克郎（東京大学 生産技術研究所 助教授）
- 中原秀樹（武蔵工業大学 環境情報学部 教授）
- 益田文和（東京造形大学 教授）
- 鈴木淳史（横浜国立大学 大学院工学研究科 教授）
- 木俣信行（鳥取環境大学 教授）

**連絡先**

山本良一  
 Tel : 03-5452-6501  
 Fax : 03-5452-6508  
 e-mail : yamamoto@iis.u-tokyo.ac.jp

**2. 主旨**

2001年は循環型社会元年として、我が国においてはリサイクル法など多くの法律が施行された他、グリーン購入法により政府・自治体によるグリーン購入が101品目について開始されました。グリーン購入ネットワークのメンバーは2600団体を越え、政府・自治体によるグリーン購入と共に環境効率が高い製品やサービスの開発は一段と加速されるに間違いありません。

本特別研究会は「環境に配慮した新しい物作り」を環境効率（Eco・efficiency）とエコデザイン（Eco・design）の見地から考える研究会として1999年に発足し、略称をSPEEED（Special Project on Eco・Efficiency and Eco・Design）としております。

既に延べ40社の参加をいただき、各社のエコプロダクツ、エコサービス（エコビジネスモデル）の事例を積極的に収集し具体的に分析し、その成果の一部は『エコデザイン - ベストプラクティス100（1999年）ダイヤモンド社』、『サステナブル・カンパニー - 環境世紀に勝ち残るビジネスモデルとエコサービス事例71（2001年）ダイヤモンド社』に公表致しました。

2002年はグリーン購入、グリーン投資の普及拡大の流れの中で、製品、サービス、企業の環境格付けが課題となりこれまで以上に「エコエフィエンスーとエコデザイン」に注目が集まるものと考えております。

そこで2002年はこれまでも増してエコデザインの成功事例の分析を行い、エコデザイン技術進歩の度合をファクターとして測定し、エコプロダクツによる環境改善ポテンシャルを評価することを目指します。同時にエコサービス（エコビジネスモデル or サステナブルソリューション）について徹底的な調査・検討を行い、エコサービス学の確立を目指します。

**3. その他**

年会費 : 20万円

参加者数 : 2～3名/社

運用方法 : 脱物質化サービス経済における物作りとビジネスモデルを探求する

- (1) 年5回程度の定例研究会で、事例に則して、概念・手法・技術について学び、また議論してまとめる。
- (2) 「エコデザイン」、「サステナブル・カンパニー」を入門書とする。次に資源生産性向上のためのサステナブル・プロダクト・ディベロップメントの様々な手法及び、事例について討論する。
- (3) 環境格付けの代表的な手法を学び、ビジネスモデル・環境負荷削減・消費者受容性の観点から分析する。
- (4) エコサービスについてその事例を世界的にサーベイし体系化する。